

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 3 日

事業名称		中小企業勤労者生活資金融資事業費〔就職情報室事業〕										
予算科目	款	5	労働費	項	1	労働諸費	目	1	労働諸費	事業番号	1	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	産業振興 課 商工 係					課長名	小川 泉					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	3 - 1			
【施策名】 勤労者福祉の向上								総合計画書 (ページ)	52			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 就労を希望している市民及び周辺地域の住民					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 就労を希望している周辺地域の住民						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 就労希望者が就労できた					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①就職情報室を活用して就職した件数 ②就職面接会を活用して就職した件数						
	→											
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 市役所庁舎内に「就職情報室」を設置し、立川公共職業安定所と共同で雇用機会の情報提供を実施している。また、定期的に立川公共職業安定所及び公益財団法人東京しごとセンター多摩と共催で就職面接会を開催し、雇用の機会を提供した。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①就職情報室の利用件数 ②就職面接会を開催した数						
	→											
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	データなし	データなし	データなし						
	成果指標	②の数値	①件 ②人	①540 ②29	①396 ②26	①381 ②16						
	目標	②の目標値	件	-	-	-	①400 ②20		①400 ②20			
	目標値設定の考え方 勤労者福祉の向上に伴い市民の評価が高まると想定し目標値とした。											
3 経費	活動指標	③の数値	①件 ②回	①8,508 ②9	①6,384 ②7	①6,145 ②4						
	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は 8,310,000 円 時間単価は、 4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.08	0.08	0.08	※事業費について、5款労働費の事業費は、労働 - ①生活資金融資あっせんに係る部分のみである為、本事業については事業費は0で記入するものである。					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	831,000	831,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	664,800	664,800	664,800							
4 環境変化等	(1) 開始年度		年度									
	(2) 環境の変化 年々東大和市就職情報室の利用者が減少している。これは近隣市にも当市と同様の「就職情報室」が開設されたことによる影響と考えている。また、経済状況によっても利用者数は大きく影響を受ける為、環境の変化に応じて対応する必要がある。また、就職面接会についても年に1回の開催で複数の事業者に参加していただいた形式から、1度の参加事業者を少なくし、年に複数回の面接会を行い、事業者と求職者のマッチングを促す形式に変更してきた。											

事業名称	中小企業勤労者生活金融融資事業費〔就職情報室事業〕			
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係 課長名 小川 泉

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 就職面接会に参加した事業者からは、個別の就職面接会という雇用の機会を得られるのはありがたいとの意見をいただいた。市とハローワークが協力して実施している就職面接会は、対外的に信用度が高いものとされ、独自で求人募集をするよりも多くの求職者を面接することができるとのことだった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：③事業協力		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 「就職情報室の運営」「就職面接会の開催」を実施している立川公共職業安定所と更なる情報共有を図り、連携強化をすることで更なる市民協働の形態を作る。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 就職情報室が市役所庁舎内にあるという認知度が低い。※就職情報室及び就職面接会については前年度振り返りシート未作成。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 市役所ロビーに就職情報室ののぼりを設置。市報にも就職情報室の記事を掲載するなど、周知を図った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ここ数年、利用者は減少にあるため、利用促進のための施策を共同で実施している立川公共職業安定所と情報共有を図りながら、連携強化に努め、利用者増加に向け研究していく必要がある。また、就職面接会についても参加事業者の確保や企画等を工夫しながら、雇用機会の創出をしていくことが必要。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 勤労者福祉の向上 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 共同で実施している立川公共職業安定所と情報共有を図りながら、周知・PRをすることで更なる認知度を向上し、利用者増加を図っていく。また、就職面接会については、協力機関と連携を図りながら、必要な開催回数の確保に努め、雇用機会の創出を図っていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	東大和市就職情報室についての認知度を向上させるため、周知の方法について何が有効手段であるかを研究しながら、立川公共職業安定所とともに利用者促進を図っていく。また、就職面接会においても同様に参加事業者・参加者を確保するため工夫をしなければならない。			